

資料 7

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表

(鶴川・南地区)

- 1 町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表について (鶴川・南地区)
- 2 町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表 (鶴川・南地区)

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（鶴川地区・南地区）について

本資料は、各通学区域統合検討対象校において、「児童・生徒の通学のしやすさ」の評価項目における優先順位を比較検討し、第6回審議会で審議した「ゆとりある学校施設環境の整備」及び「学校施設の老朽化の状況」の評価項目における優先順位とあわせて、学校候補地を選定するための資料です。

資料の見方は以下のとおりです。

資料の見方

①候補地の順番は、通学区域統合検討対象校ごとに「㉑建物敷地面積」の大きい順番になっています。

②各項目の見方・内容について

項目		小項目	内容		
地区		①	-	町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）で示した地区	
通番		②	-	通学区域検討対象となっている通学区域別の番号	
学校名（候補地名）		③	-	学校名または学校以外の候補地名	
学校候補地		④	-	評価項目「児童の通学のしやすさ」「ゆとりある学校施設環境の整備」「学校施設の老朽化の状況」を総合した望ましい学校候補地 ※⑩と㉑の評価結果を総合して評価	
統合後学級数 ※新たな通学区域（アンケート調査案）変更後		⑤	2020	2020年度に通学区域を統合した場合の児童数から算出した学級数	
		⑥	2030	2020年8月に実施した児童数推計における2030年度の通学区域統合後の推計児童数から算出した学級数	
		⑦	2040	2020年8月に実施した児童数推計における2040年度の通学区域統合後の推計児童数から算出した学級数	
		⑧	統合可能年度	小学校：推計学級数が24学級以下になる年度	
		⑨	統合可能年度児童数	⑧の年度における統合後の児童数及び学級数	
順位合計		⑩	-	①と②の順位の数字の合計	
児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目	優先順位	⑪	-	児童の通学のしやすさ 評価項目における学校候補地としての優先順位 ※⑫の数字の少ない順	
	順位合計	⑫	-	⑬と⑭の順位の数字の合計	
	順位	⑬	-	⑭の割合が小さい順	
	学校候補地から直線距離で2km（徒歩で約30分）超の場所に居住する児童		⑭	-	学校候補地から直線距離で2km（徒歩で約30分）超の場所に居住する児童の割合
			⑮	-	学校候補地から直線距離で2km（徒歩で約30分）超の場所に居住する児童の人数
	2kmを超える児童への配慮		⑯	-	学校候補地から直線距離で2km超の場所に居住する児童が、おおむね30分程度（35以内）で通学するための配慮の可否
		順位	⑰	-	⑱の割合が大きい順
	学校候補地から直線距離で1km（徒歩で約15分）以内の場所に居住する児童		⑲	-	学校候補地から直線距離で1km（徒歩で約15分）以内の場所に居住する児童の割合
			⑲	-	学校候補地から直線距離で1km（徒歩で約15分）以内の場所に居住する児童の人数
	1km～2kmの児童への配慮		⑳	-	学校候補地から直線距離で1km超～2km以内の場所に居住する児童が、おおむね30分程度（35以内）で通学するための配慮の可否
ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目	優先順位	㉑	-	ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目における学校候補地としての優先順位（第6回審議会審議結果掲載）	
	建物敷地面積+運動場面積	㉒	面積（㎡）	建物敷地面積と運動場面積の合計 ※学校以外は敷地面積	
	建築制限	主たる用途地域	㉓		地域に沿った土地利用を実現するための建築物の用途・都市計画法の規定による規模等の制限の別
		容積率	㉔		主たる用途地域による容積率
	施設の配置の工夫のしやすさ	土地の形状	㉕		より正方形に近い敷地であれば「整形」と記載
		土地の高低差	㉖		有…候補地内に施設配置や維持管理に支障が出やすい高低差が有る 無…候補地内に施設配置や維持管理に支障が出やすい高低差が無い
			㉗	周囲への日影の影響	大…周囲に建物等が多い（概ね北・東・西の3方向に建物等がある） 中…周囲に建物等がある（概ね北・東・西のうち2方向に建物等がある） 小…周囲に建物等が少ない（概ね北・東・西のうち1方向にのみ建物等がある）
		都市計画道路	㉘		敷地内における都市計画道路の整備計画予定の有無 ※「計画有」と記載されている場合…学校候補地から除外
老朽化評価項目	2000年以降建築	㉙	-	2000年以降に新築または改築した場合には、新築または改築した年を記載	
		㉚			
（参考）避難施設の指定		㉛	地震	町田市地域防災計画における地震災害時の避難施設としての指定の有無	
		㉜	風水害	町田市地域防災計画における風水害時の避難施設としての指定の有無	

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（小学校：鶴川地区）

地区	通番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	統合後学級数					児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目							ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目							老朽化 評価 項目		(参考) 避難施設 の指定				
				2020	2030	2040	統合 可能 年度	統合可能 年度児童 生徒数	優先 順位	順位 合計	通学距離・通学時間			優先 順位	建物敷地面積 +運動場面積 面積 (㎡)	建築制限		施設の配置の工夫の しやすさ				2000 年以降 建築	地震	風水 害					
				順位	学校候補地から直線 距離で2km(徒歩 で約30分)超の場 所に居住する児童	2kmを超 える児童 への配慮	順位	学校候補地から直 線距離で1km(徒 歩で約15分)以 内の場所に居住する 児童			1km~ 2kmの児 童への配 慮	主たる 用途地域	容積率			土地 の形 状	土地 の高 低差	周囲 への 日影 の影響	都市 計画 道路										
鶴川	(1)	大蔵 鶴川第一		37	24	24	2028	836 (24学級)	2位	4	2位	23.0%	318人	配慮可能	2位	41.1%	567人	配慮可能	1位	19,223	第二種中高層住居	100%	整形	無	大			○	○
									1位	2	1位	6.4%	88人	配慮可能	1位	60.9%	840人	配慮可能	2位	18,993	第一種低層住居	80%		有	中		2015年	○	○
	(2)	鶴川第三 鶴川第四		21	18	18	2020	727 (21学級)	2位	4	2位	0.5%	4人	配慮可能	2位	54.0%	459人	配慮可能	1位	17,394	第一種中高層住居	100%	整形	無	小			○	○
									1位	2	1位	0.0%	0人	配慮可能	1位	64.0%	544人	配慮可能	2位	16,853	第一種中高層住居	100%		無	小			○	
	(3)	金井スポーツ広場 金井 藤の台		32	23	24	2026	834 (24学級)	1位	2	1位	0.0%	0人		1位	67.8%	797人	配慮可能	1位	17,499	第二種中高層住居	100%	整形	無	大			-	-
								2位	4	1位	0.0%	0人		3位	41.4%	487人	配慮可能	3位	13,331	第一種低層住居	80%		無	大			○	○	
								3位	5	3位	6.9%	81人	配慮可能	2位	44.1%	518人	配慮可能	2位	13,322	第一種中高層住居	100%		無	大			○	○	

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（中学校：鶴川地区）

地区	通番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	統合後学級数					児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目							ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目							老朽化 評価 項目		(参考) 避難施設 の指定						
				2020	2030	2040	統合 可能 年度	統合可能 年度児童 生徒数	優先 順位	順位 合計	通学距離・通学時間			優先 順位	建物敷地面積 +運動場面積 面積 (㎡)	建築制限		施設の配置の工夫の しやすさ				2000 年以降 建築	地震	風水 害							
				順位	学校候補地から直線 距離で2km(徒歩 で約30分)超の場 所に居住する生徒	2kmを超 える生徒 への配慮	順位	学校候補地から直 線距離で1km(徒 歩で約15分)以 内の場所に居住する 生徒			1.5km~ 2kmの生 徒への配 慮	主たる 用途地域	容積率			土地 の形 状	土地 の高 低差	周囲 への 日影 の影響	都市 計画 道路												
鶴川	(4)	鶴川第二中学校 (+鶴川第三小 学校) 鶴川第二中学校 鶴川第三小学校 真光寺		29	22	21	-	-	1位	3	1位	21.0%	216人	配慮可能	2位	37.1%	382人	配慮可能	1位	32,352 ※2	第一種中高層住居	100%	整形	無	中			○			
							※1															14,958	第一種中高層住居	100%	整形	無	中			○	
																						17,394	第一種中高層住居	100%	整形	無	小			○	○
																						13,535	第一種低層住居	80%		無	中			○	
	(5)	金井 薬師		19	13	12	2021	615 (18学級)	1位	2	1位	0.0%	0人		1位	82.1%	503人	配慮可能	1位	19,943	第一種低層住居	80%	整形	無	中			○	○		
								2位	4	2位	12.1%	74人	配慮可能	2位	39.6%	243人	配慮可能	1位	15,533	第一種中高層住居	100%	整形	無	中			○				

※1 2040年度までに適正規模となる1校当たり18学級を下回らないことから、「-」を記載

※2 鶴川第二中学校と鶴川第三小学校の面積(㎡)を合計した面積

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（小学校：南地区（成瀬台中学校区））

地区	通番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	統合後学級数					児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目							ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目							老朽化 評価 項目		(参考) 避難施設 の指定						
				2020	2030	2040	統合 可能 年度	統合可能 年度児童 生徒数	優先 順位	順位 合計	通学距離・通学時間			優先 順位	建物敷地面積 +運動場面積 面積 (㎡)	建築制限		施設の配置の工夫の しやすさ				2000 年以降 建築	地震	風水 害							
				順位	学校候補地から直線 距離で2km(徒歩 で約30分)超の場 所に居住する児童	2kmを超 える児童 への配慮	順位	学校候補地から直 線距離で1km(徒 歩で約15分)以 内の場所に居住する 児童			1km~ 2kmの児 童への配 慮	主たる 用途地域	容積率			土地 の形 状	土地 の高 低差	周囲 への 日影 の影響	都市 計画 道路												
南	(6)	成瀬台中学校 (+成瀬台小学校) 成瀬台中学校 成瀬台小学校 成瀬中央小学校	○					813 (24学級)	1位	2	1位	0.0%	0人		1位	82.2%	967人	配慮可能	1位	33,015 ※3	第一種中高層住居	100%	整形	無	中			○	○		
																						16,502	第一種中高層住居	100%	整形	無	中			○	○
																						16,513	第一種中高層住居	100%	整形	無	中			○	○
																							16,509	第一種中高層住居	100%	整形	無	大			○

※3 成瀬台中学校と成瀬台小学校の面積(㎡)を合計した面積